

6月定例会の

おもな案件

多治見市児童発達支援センターの設置及び管理に関する条例の制定

発達支援センター、ことばの教室の統合ならびに移転を行い、新たに地域における中核的な役割を担う児童発達支援センター（愛称「わかば」）を整備するため、設置および管理に関する条例を制定するものです。

令和5年度一般会計補正予算（第2号）を可決

多治見市一般会計歳入歳出予算の総額に998万2千円を増額し、403億953万5千円とするものです。

おもな事業内容は、次のとおりです。



陶壁「瀟」本庁舎1階 加藤孝造氏作成

□公葬関係費

898万2千円

逝去された多治見市名誉市民加藤孝造氏の公葬を瑞浪市、可児市、公益社団法人美濃陶芸協会と合同で行うことに伴い委託料等を増額するものです。

※瑞浪市、可児市からの公葬負担金あり

令和5年度一般会計補正予算（第3号）を可決

多治見市一般会計歳入歳出予算の総額に23億668万6千円を増額し、426億1千622万1千円とするものです。

おもな事業内容は、次のとおりです。

□住民税非課税世帯支援給付金事業費

3億9千9万9千円

住民税非課税世帯に支給する給付金に伴い補助金を増額するものです。

※一世帯につき3万円を支給

※財源：国庫補助金（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金）

□第2子以降出産給付金給付事業費

4千万円

出生数の増加および子育て世帯の経済的な負担を軽減するための給付事業に伴い補助金を増額するものです。

※児童1人につき10万円を給付

※財源：県補助金

□緊急経済対策関係費

6千100万円

①エネルギー価格高騰の影響を受ける市内陶磁器・同関連製品製造業者に対するエネルギー利用効率化に資する設備導入経費支援事業への補助金を増額する



高規格救急車

るものです。

3千100万円

②エネルギー価格高騰の影響を受ける市内陶磁器・同関連製品製造業者に対する高圧ガス（LP・ブタン）経費への補助金を増額するものです。

3千万円

※財源：国庫補助金（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金）

□道路改良事業費

8千615万円

市内13カ所の舗装・側溝等改良工事に伴い工事請負費を増額するものです。

□高規格救急車購入費

3千815万9千9千円

北消防署配属の高規格救急車の更新に伴い備品購入費等を増額するものです。

※財源：地方債（緊急防災・減災事業債（充当率100%、交付税措置率70%））

□小学校施設改良事業費

5千255万6千円

脇之島小学校校舎棟（北舎）屋根防水工事他7件の大規模修繕工事等に伴い工事請負費を増額するものです。

※財源：地方債（学校教育施設等整備事業債（充当率75%、交付税措置率50%））

□笠原小中一貫教育校建設事業費

6千820万4千円

①笠原小学校附属幼稚園移転後の敷地整備の設計に伴い委託料を増額するものです。

619万3千円

②笠原小学校の外壁アスベスト除去工事に伴い工事請負費を増額するものです。

6千201万1千円

□中学校施設改良事業費

4千187万5千円

南姫中プールサイド等補修工事他6件の大規模修繕工事等に伴い工事請負費を増額するものです。

※財源：地方債（学校教育施設等整備事業債（充当率75%、交付税措置率50%））

□体育施設整備費

1億3千194万6千円

星ヶ台第1テニスコート照明のLED化工事他6件の屋外体育施設改修工事に伴い工事請負費等を増額するものです。

※財源：県補助金、地方債（脱炭素化推進事業債（充当率90%、交付税措置率30%））、諸収入（スポーツ振興くじ助成金）

□星ヶ台運動公園整備事業費

5億1千915万2千円

星ヶ台運動公園整備工事に伴い工事請負費を増額するものです。

※財源…地方債（公共施設等適正管理推進事業債（充当率90%、交付税措置率50%））



星ヶ台運動公園パース図

人事案件（敬称略）

□教育委員会委員

水野 豊

笠原町

（新任）

任期は、令和5年6月1日から

令和5年9月30日まで

□公平委員会委員

小倉 保二

中津川市

（再任）

任期は、令和5年7月30日から

令和9年7月29日まで

□監査委員

尾関 恵一

大藪町

（再任）

任期は、令和5年7月26日から

令和9年7月25日まで

□農業委員会委員

山内 晃三

錦町

（再任）

日比野敏夫

美坂町

（再任）

加納 洋一

笠原町

（再任）

梶田 達行

池田町

（再任）

長江 弓子

笠原町

（新任）

江崎 勇

宝町

（新任）

水口 博文

廿原町

（新任）

市原 勝美

大藪町

（再任）

鈴木 芳幸

姫町

（再任）

坂崎 寛治

大針町

（再任）

右高 一朋

喜多町

（再任）

若尾 武彦

根本町

（再任）

富田 良一

笠原町

（再任）

若尾 茂

根本町

（再任）

東 一二美

東栄町

（再任）

伊藤 忠義

小泉町

（新任）

任期は、令和5年7月20日から

令和8年7月19日まで

請願は閉会中の継続審査に

18歳年度末までの医療費助成制度拡充を求める請願は、6月30日の本会議において、厚生環境教育常任委員長より議長に対し、閉会中の継続審査の申し出があり、賛成多数で可決しました。

意見書1件を可決

地方自治法第99条の規定により提出した意見書は、次のとおりです。

□特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置を求める意見書

あて先 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 内閣官房長官 総務大臣 財務大臣 文部科学大臣

第8次総合計画策定に向けて 議会も積極的に関わります

第8次総合計画策定特別委員会の取り組み

総合計画は、多治見市の最上位の計画として位置づけられ、市に策定義務を課し、市長の任期ごとに見直しを行うと共に、基本構想および基本計画は議会の議決を要することとしています。

第8次総合計画は、令和6年度から8年間の計画として令和5年度に策定され、前半4年間を前期計画期間、後半4年間を後期計画期間としています。

今年度は計画を策定する年であり、21名の議員全員で構成する「第8次総合計画策定特別委員会」を5月臨時会で設置し、計画の策定段階から積極的に議論を重ねています。

各議員の政策実現を目指すための議員一人一提案や分科会^(※)での基本計画事業の詳細な審議を経て、12月議会への執行部からの提案に向け、議会として引き続き積極的に関わっていきます。



第8次総合計画策定特別委員会の審議の様子

※分科会 第1分科会：総務常任委員会
第2分科会：経済建設常任委員会
第3分科会：厚生環境教育常任委員会